

ずねたり調べたりしてアメリカのロータリーの本部に勇気を出して直接電話したのですが英語もイタリア語も全然ダメで四苦八苦しました。でも手続きは英語かイタリア語でタイプで自分で打って出さねばならないとわかりましたが、そこまではしらべたのですが何回もくり返しますが英語がにがてなもので大変苦労しました。イタリア語だって「ボンジョルノ」くらいしか知らないし……、まあそうこうしながら、曲りなりにアメリカの本部へ英語の先生を介して送っていただきました。でも256地区の新潟、群馬地区の本部へ連絡をとりましたがヨーロッパ等は初めてということでした。でもとりあえず送りました。ところが今度は返事が来ず又勇気を出して国際電話をしましたが通じず、86年6月出発7月入学試験に間に合わない。加茂ロータリークラブでは壮行会、親せきでは金集めが始まった。しかし「切符」が来ない、結局は親に立替えてもらいました。でも最終的にはローマのロータリーを通じてアメリカから米ドルで送って米ドルで送っていただきました。今は帰国した人達が情報交換をやって楽にずい分なったようですが、その当時は知らない解らないで苦労しました。

さて1986年6月9日出発して18時間かけて6月10日にローマに到着しました。現地ではイタリア人の妻と結婚した学校の後輩から案内をしてもらいましたのでその点ではラッキーでした。その友人がいうにはすぐその足でロータリークラブの会合へ出るということでしたがなにしろ初めての飛行機でしたし、新妻をつれての新婚旅行という形でして、時差ボケとつかれと暑さでまいりました。でもとり会えず会場に着いて、ひととおり紹介されたと思うのですが、あいにく全く言葉がわからない。属という東洋人のスマイルでご魔化しました。ローマの会合は決こう大きいパーティのようで食事1時から4時まで続くようなイタリア料理のフルコースでした。が食欲もない所を無理矢理食ったものです。こういうパーティはたいい奥様同伴でご夫人は必ずごいっしょで娘さんとかせがれさんとか社交界へのデビューをはなやかにさせているといったそんな感じです。日本とは食習慣が違い3時間食べ続けるのは全くおどろかされました。イタリアには合計3年間いました。日本とイタリアの違いは良い悪いの判断があまりにもハッキリしている事ではないでしょうか。イタリア人は他人と違うという事は余り恐れないようです。日本人は他人と違うという事が嫌われる傾向にあるようです。

アメリカでも「パードン」とかかって余りあやまらないようですが、イタリアでも「ミスクージ」とかかって「自分が悪かった」という意味の事は余りいわないで、もう一つの言葉で「ミディスピーーチ」これは「残念です不本意です」という言葉を良く使うようです。とにかく責任をとらない、責任逃れがうまい「残念ながら弁償はしない」といった事ですのでお金の問題とかキリスト教の関係の問題であやまると非を認める事になるので天国から地獄へ一歩近づく事になるので「ミスクージ」は使わないで、宗教の違いで「ミディスピーーチ」を使うようです。さて、とり会えず23日には万全の態勢で歌を歌いたいと思いますので私の事は20分間スピーチで少しは知っていただいたと思いますので、是非会場を満席にして私の歌を聞いていただき、北ロータリークラブの十周年もアピールしていただきたいと思います。お客さんも北ロータリーの皆さんも又、私も「ハッピー」でしめくりたいと思い精一杯歌います。末永くよろしく願いいたします。

12月19日例会： クリスマスパティー

12月26日例会： 会員卓話 加藤 実さん ロータリー情報ワンポイントスピーチ



三條北ロータリークラブ週報

真心の行動
慈愛の奉仕
平和に挺身

例会日
1995. 12 . 12
累計 No 442
当年 No 22

国際ロータリー会長 ハーバード・G・ブラウン 第2560地区ガバナー 重田政信

会長／味方 義一

幹事／木宮 隆

SAA／稲田 憲治

例会日／火曜日 12:30～13:30

例会場／三條ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX 34-8114

事務局／三條市西四日町3-15-34

ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160 FAX 33-8972

行事： 「音楽は世界の共通語」オペラ歌手三浦克次様

出席： 本日の出席 55名中41名

先々週の出席率 55名中46名 83.64% (前年同期92.31%)

11月の出席状況： 会員数55名 例会数4回 平均出席率85.46%

(前年同月90.77%)

先週のメイクアップ： 12月5日 秋田北RCへ 淵岡 茂さん

6日 三條RCへ 山上茂夫さん 吉川吉彦さん 大竹保男さん

7日 見附RCへ 淵岡 茂さん

7日 加茂RCへ 山上茂夫さん 吉川吉彦さん

9日 オン・ツー・カルガリ委員会へ 坂本勝司さん

11日 三條南RCへ 山上茂夫さん 吉川吉彦さん 中條耕二さん

ビジター： 三條RCより 藤田紘一さん

ゲスト： オペラ歌手 三浦克次様

オブザーバー： (株)久保紙器社長 久保 博様

旭 設計代表 西村 護様

おばた内科クリニック院長 小島茂男様

会長挨拶： 味方義一

三浦克次様ようこそおいで下さいました。今日は卓話をいただきます。

1月23日に開かれます創立10周年の記念事業であります三浦克次コンサート、是非共成功させましょう。三條クラブより藤田さん、ようこそおいで下さいました。又、本日はうれしい事に、新入会員予定者であります久保博さん、西村護さん、小島茂雄さん御三名の方々がオブザーバーとして出席していただきました。どうぞ気楽な気分で例会を楽しんで下さい。

昨日は年末犯罪防止パトロールと言う事で中心街の自治会長と三條市長、栄町長、下田村長、三

條警察署々長、神明町交番ともども総勢30名で夜の中心地をパトロールをいたしました。年末の夜の賑やかさはなく、少し淋しい思いをしながらのパトロールですので、寒さも大変身にこたえました。それを名目にして、自治会長数名で腹の中から暖める事になってしまい、今日は二日酔の気分であります。私は余り強くないと思っておりますが、皆さんは強いと言ってくれます。酒に強い、弱いは遺伝だそうです。夫々人間の持っている酵素の多少によるもので、民俗性によっても異り、日本人の4割は酵素が少なく、欧米人は比較的に酵素が多いので酒には強い。酵素の少ない人はアセトアルデヒドがたまって脳に行き、悪酔いする。アルコール酔いは血中濃度により、ほろよい状態とめいてい状態、泥酔状態に分けると、ほろよい状態とは0.03%でおしゃべりになり、愉快的気分になり、0.05%では酒酔運転でつかまり、0.07%位では脈、呼吸が速くなり、手元が危しくなる。めいてい状態は0.1%~0.2%では千鳥足となり、ロレッツが回らなくなり、介護が必要となり、酔いがさめても酔中の記憶がおぼつかなくなり、0.3%では泥酔状態で肩で呼吸をし、支離めつれつになり、転んでも痛さがわからなくなり、人の言葉が理解出来なくなる。0.4%では昏睡状態、全身麻酔状になる。これから忘年会、新年会と飲酒の機会が多くなります。自分の適量を知り、楽しい酒を飲みましょう。……自改をこめて。

幹事報告： 木宮幹事

なし

ニコニコボックス： 12日現在累計 585,400円

外山晴一君 きのう、中国よりの帰りに関空で当クラブの山口さんに会い、いちはやく三条市に帰った感じでうれしかったです。

長谷川恵慈君 三浦さん一曲お願いします。10周年記念事業のチャリティコンサートよろしくお願いします。

長谷川博一君 三浦さんようこそおいで下さいました。きのう練習ありがとうございました。素晴らしいコンサートになるのではないかと期待しております。

吉川吉彦君 10周年記念事業にご賛同ご協力をいただき、又本日は卓話いただき大変有難うございます。1月23日の本番は宜敷くお願いいたします。

加藤実君 久しぶりです。

堀川正幸君 三浦さん本日は北クラブへようこそ。卓話をありがとうございます。楽しみにしております。

斉藤正君 三浦さんのご来訪ありがとうございます。三条高校同窓生の一人として誇りに思っています。一層のご活躍をお祈りします。

梨本清一君 三浦さんのご来訪に感謝します。益々のご活躍をお祈りします。

刈岡茂君 いつも出席するたびに久しぶりですみません。札幌、秋田、広島と今年最後の出

張に行ってきました。無事に帰りましたので。

芦田義重君 西村護さん、小島茂男さん、久保博さんの入会を歓迎致します。

山上茂夫君 三浦克次さんをお迎えして、よい記念事業となります様に……。

羽賀一夫君 昨日、エレベーターの全国会合が池袋のメトロポリタンホテルの最上階（25階）で有りました。乗物よいの状態に成りました。ビルがゆっくりゆれているそうです。今でも気分が悪いです。

梨木建夫君 三浦克次さんの卓話を期待しています。同窓のよしみで週報の原稿もよろしく、小島さん、久保さん、西村さんを歓迎申し上げます。

イライラボックス： 12日現在累計 6,000円

卓話： 「音楽は世界の共通語」 オペラ歌手三浦克次様



私、ご紹介が先程山本さんよりありましたが、私のようなものを余り縁のない所をわざわざご指名いただきまして遂に縁の深さと皆様方の心の暖かさが身にしみ、おとといあたりからフツフツとやる気が湧いてまいりました。昨日も会員の皆様と合同の練習をさせていただきました。高校から大学までの頃の事は今年の5月1日の三高の同窓会でリサイタルをやっていただきまして、その時のプロフィールを山本さんがコピーしてしていただきましたので、それを読んでいただければおわかりになると思いますが……。その後大学を終えロータリークラブの奨学生となりイタリアにいくまでの事と、行ってからのお話させていただきたいと思います。

プロの先生にオペラ歌手にと進められたのですがピアノもないしあまり環境的にもめぐまれた状態ではなかったのです。が、少し時間がたつとどうしてもやらざるを得ない状態になり、どうしてもやりたいという思いにかられました。

大学の2年間は法律の勉強をやっておりましたが、頭の中はそのプロ歌手への思いで一杯でした。又、親にも言い出せなくて困りました。大学を出てからは東京せいせい音楽学院という所に2年間勉強させていただきました。そこは専門学校だという事で年令的にも同じ位の人とか、又いろいろな事、授業料が安い事、又、2年間で音楽の先生の免状がとれること、歌が2曲位歌えと入れる学校であるという事でまあ選んだあなばいです。又、その学校のパンフレットの案内ではローマの聖シチリア音楽学院と提掲しているを書いてありました。（後に私が留学した学校ですが）でも提携といっても経費や授業料は自分で出さねばならないという事でハタッと困ってしまいました。でも歌の本場、イタリアで是非勉強したいという思いが一杯でしたので、そこでどうしようかと迷っていましたが、歌の発声のセミナーで参加した関西の女性がロータリークラブの奨学生でローマに留学するとの話を聞きました。私もできたらチャレンジし、その権利を得たいと思って色々な手続きにかかりました。ところがその手続きが大変な苦勞でまいりました。そこで実家の加茂に戻り加茂市の上条の渡辺歯科医のロータリアンに聞きましたが、なにしろ初めての事なので、高校生の留学とかはあるが、芸術家的な留学はまだないとの事でした。そこで仕方なく自分で方々にた